



第3回福島第一廃炉国際フォーラム について

2018年7月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

第3回福島第一廃炉国際フォーラムの概要

2018年8月5日（日）**地元の皆様と考える1F廃炉** 楡葉町コミュニティセンター

- ・地域住民の皆様からのご質問に、福島第一廃炉関係者（東電、経産省、NDF）がしっかりとお答えするとともに、それを通じて、廃炉関係者が地域住民の皆様の想いを知り、今後の廃炉を進める。

ポイント

- 1) ぼいすふるむふくしま2018
地域住民の皆様への事前ヒアリングをまとめた冊子より「浜通り」、「若い世代」にフォーカス
- 2) 「話す」セッションでの全員参加型意見交換
地域住民の皆様の積極的参加
- 3) 「問う」セッションでの廃炉関係者と地元登壇者のディスカッション
参加者や地元登壇者の疑問に廃炉関係者がお答えします



「話す」



グラフィックレコーディング



大ホール



※イメージ

「問う」

2018年8月6日（月）**技術専門家と考える1F廃炉** いわき芸術文化交流館アリオス

- ・国内外の専門家が福島第一廃炉の最新の進捗、技術的成果を広く共有

ポイント

- 1) メインセッション「福島第一廃炉を切り拓く遠隔技術」
 - ・国内外の遠隔操作技術、ロボット技術の専門家を結集
 - ・海外のクリーンアップサイトでの活用状況を幅広く紹介
 - ・1Fでの最新の遠隔技術活用の経験を発表
 - 2) 技術ポスターセッション 国内外の関係機関が参加
 - 3) 学生向けセッションも開催
- ※同時開催：「福島復興学ワークショップ」



※イメージ

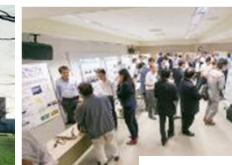
メインセッション



大ホール



出典：いわき芸術文化交流館アリオスWebページ



ポスターロボット展示



10:30-11:00	挨拶 山名理事長ほか
11:00-11:15	基調講演 OECD/NEA マグウッド事務局長
11:15-12:10	<p>・「知る」セッション ファシリテーター 開沼 博立命館大学衣笠総合研究機構准教授による 1Fの今と第2回フォーラムから見えてきた論点の紹介</p> <p>・「話す」セッション 全員参加型の意見交換会。廃炉に対する想い、廃炉に期待すること 自分たちにできることについて意見交換を行います。</p>
12:10-13:40	地元食材を使った昼食提供/地域活動ポスターセッション/講演 ウェイトマン客員教授
13:40-15:55	<p>・「問う」セッション ばいすふるむふくしまや「話す」セッションで集められた意見を、地元登壇者が1F廃炉関係者に 質問します。廃炉関係者は参加者、地元登壇者が満足するまでしっかりお答えします。</p> <p>登壇者 廃炉関係者（TEPCO小野CDO、経済産業省、NDF山名理事長） 海外代表 OECD/NEAマグウッド事務局長 IAEAグゼリ核燃料サイクル・廃棄物技術部長 その他、地元登壇者、ファシリテーター開沼准教授</p>
15:55-16:10	総括報告 IAEA グゼリ部長
16:10-16:15	閉会挨拶

調整中

DAY2 プログラム案

10:00-10:10	挨拶 NDF山名理事長ほか
10:10-10:30	福島第一原子力発電所の現場状況についての報告 TEPCO小野CDO
10:30-10:45	講演 アメリカ サバンナリバー国立研究所 グリフィン副所長
10:45-11:00	講演 原子力規制庁 山形 緊急事態対策監
メインセッション	1F廃炉を切り拓く遠隔技術
11:00-11:20	基調報告 浅間 東京大学教授
11:20-11:50	1F廃炉の戦略と遠隔技術の活用 日/NDF福田執行役員
11:50-12:10	海外での取組事例 イギリス 英/セラフィールド キャンディ修復技術部長
12:10-12:30	海外での取組事例 フランス 仏/CEA ジョルジュ調査・国際協力連携課長
12:30-12:50	海外での取組事例 アメリカ 米/DOE リマンド氏
12:50-14:50	昼休憩/技術ポスターセッション
14:50-15:10	宇宙分野の遠隔技術の活用実績 米/NASA アンブローズ博士
15:10-15:30	モックアップ施設の活用 英/RACE バッキンガム博士
15:30-15:35	休憩
15:35-16:15	パネルディスカッション ファシリテーター 英/NDA シンパー理事
16:15-16:45	質疑応答
16:45-17:00	閉会挨拶 OECD/NEA マグウッド事務局長

学生セッション

福島復興学
ワークショップ



延長した場合でも、17:20終了を予定